SPORTS & SUPPORTS
KOTO City in TOKYO
スポーツと人情が熱いまち 江東区

こうとう区報

NO.1991

平成30年(2018年)
12/21
毎月1日・11日・21日発行
発行:江東区/編集:広報広聴課
〒135-8383 江東区東陽四丁目11-28
https://www.city.koto.lg.jp
☎3647-9111(代) FAX5634-7538

平成30年 今年の10大ニュース

平成30年を振り返って

江東区長
山﨑　孝明

今年春、本区初の義務教育学校となる有明西学園が開校し、こどもたちの元気な声が新しい校舎に響いています。また4月、豊洲ふ頭をぐるりと周遊できる豊洲ぐるり公園が全面開園し、10月には東京都の新たな中央卸売市場として豊洲市場が開場しました。

スポーツでは、3月に開催された平昌パラリンピックで本区在住の新田佳浩選手が金・銀メダルを獲得しました。いよいよ、東京2020大会まで2年を切りました。本区はオリンピック33競技中12競技、パラリンピック22競技中8競技が実施され大会の中心地となります。気運醸成や、大会・競技への理解促進を図るためにさまざまな事業を展開してまいります。

また、平成32年度から10年間の区政運営の具体的指針となる新たな江東区長期計画の策定に向け現在準備を進めています。子育て環境の整備、高齢社会への対策、地域の特性を活かしたまちづくりなどさまざまな行政需要や喫緊の課題に的確に対応するために、長期的な視野に立ち、区民一人ひとり、地域一つひとつのご意見やご要望を大事にして施策に反映してまいります。

新たな長期計画の策定へ　準備を開始

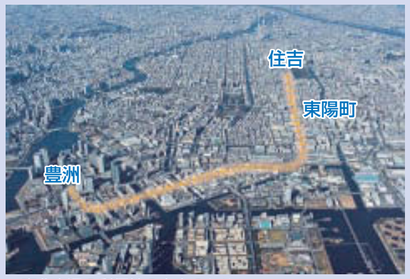
▲大勢の方が参加した「区民会議　江東ワールドカフェ」
◀誰もが生き生きと暮らせるまちに

区の最上位計画であり、まちづくり・区政運営の羅針盤となる長期計画は、現行の計画が平成31年度で終了することから、平成32年度から始まる新たな計画の策定に向けて動き出しました。人口の推計や課題の整理を進めるとともに、「みんなでつくる」計画を目指し、区民の皆さんの思いや意見を伺う「区民会議」を開催。

初回は「区民会議　江東ワールドカフェ」と題し、リラックスした雰囲気の中で、活発な意見交換が行われました。区では引き続きワークショップを開催し、多くの区民の声を聞きながら、課題や解決策について検討を進めています。

地下鉄8号線（豊洲～住吉）の延伸へさらに前進

5月、国土交通省は区も参画する「東京圏における国際競争力強化に資する鉄道ネットワークに関する検討会」を設置し、「東京8号線（有楽町線）の延伸（豊洲～住吉）」他1路線を対象として調査を開始しました。また、6月には東京都が区へ「今年度中を目途に、地下鉄8号線延伸のための事業スキームの構築に向け取り組んでいく」方針を示すなど、地下鉄8号線の延伸に向けまた一歩近づきました。実現に向けて区は、これまでの江東区での検討結果や地元区としての意見などを国の検討会で積極的に主張するとともに、東京都と具体的な協議・調整を進めています。



▲南北交通の利便性の向上のために

マギーズ東京にがんの夜間相談窓口を開設

▲本人や家族などお気軽にご相談ください

日本人の2人に1人ががんに罹患するといわれる今、がんになっても安心して暮らせるよう、日中に相談が難しい方を対象に4月から夜間相談窓口を開設しました。豊洲6丁目にある、がんの患者さんや家族等が気軽に集い相談できる施設「マギーズ東京」で、「がんの疑いがある」「治療を始めた」「治療後の生活」などの不安や疑問に、看護師や臨床心理士といった専門のスタッフが毎月1回対応しています（次回は1/11（金）に実施。詳細7面）。

豊洲市場　開場

◀豊洲市場

▲開場を前に行われた記念式典

▲区民の憩いの場となっている豊洲ぐるり公園

10/11、青果棟、水産仲卸売場棟および水産卸売場棟など生鮮食料品を扱う豊洲市場が開場しました。マグロのせりなども見ることができる見学者用デッキなどが整備され、場内には築地市場から飲食店や物販店合わせて100店舗以上が豊洲市場に移転しました。開場初日から多くの観光客が訪れるなど、江東区の新たなにぎわいの場となっています。今後、千客万来施設が開業されるまでの間、各種イベントの開催や場外マルシェの仮設整備も予定されています。また、4月には市場がある豊洲ふ頭を周遊できる「豊洲ぐるり公園」が全面開園しました。

保育待機児童解消に向けさまざまな施策を展開

▲保育園で元気に過ごすこどもたち

4月、区内では初となる都立公園内の認可保育所を木場公園内に、8月には区立公園内で初となる認可保育所を南砂三丁目公園内に開園するなど、公有地も活用しながら、積極的に保育施設の整備を進めました。

また、保育士等の資格を有しながらも未経験な方・ブランクがある方の就職を後押しする「就職応援セミナー」（詳細2面）を行い、人材確保による受け入れ体制の強化も図っています。区は引き続き、ソフト・ハードの両面から保育待機児童の解消を目指します。

区立有明西学園　開校

▲木材利用優良施設コンクールの表彰式の様子
◀区立有明西学園の外観

4月、有明・豊洲地区の児童・生徒数の急増に対応するため、区内初となる小中一貫教育を行う義務教育学校「区立有明西学園」を開校しました。有明西学園では、1年生から9年生までが一つの学校で学んでおり、9年を通した一貫性・継続性のある指導により、児童・生徒の「生きる力」を育んでいます。また校舎は、江東区らしく木材がふんだんに使われた温かみのある造りとなっており、木材利用優良施設コンクールでは内閣総理大臣賞、ウッドデザイン賞では農林水産大臣賞を受賞しました。これからも地域等との連携を図りながら、未来を担うこどもたちを育んでいきます。

高齢者が住みやすいまちを目指して

▲ご近所ミニデイでの活動（写真は亀戸・ゆらり）

地域の住民が主体となって運営する、高齢者の通いの場「ご近所ミニデイ」を4月から総合事業として開始しました。要支援者等の利用者が、軽い体操や食事、交流などを通して仲間づくりや心身の健康維持に取り組んでいます。また、早期の支援が重要な認知症に対して、本人やその家族をおおむね6か月間、医療・介護・福祉の専門職が集中的に支援する「認知症初期集中支援チーム」を各長寿サポートセンターに設置しました。高齢者が住みなれたまちで、安心して暮らしていけるよう、これからもさまざまな施策を進めていきます。

東京2020オリンピック・パラリンピックまであと2年!

▲スポーツクライミングの体験

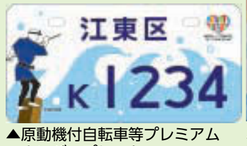
東京2020大会まで2年に迫った今年、区では大会への気運醸成を図るため、区内での実施競技が体験できるイベント「KOTOスポーツキャラバンto東京2020」を開催しました（1/6（日）にも開催。詳細3面）。8月に行われた2回目のキャラバンは2年前イベントとして行い、パラリンピアン等も登場し会場を盛り上げました。さらに、より多くの方に「おもてなし」「大会の気運醸成」のサポーターになってもらえるよう、区独自のボランティアについて概要を定め、現在、愛称の募集を行っています。また、3月の平昌2018パラリンピックでは区内在住の新田佳浩選手が、クロスカントリースキーで金メダルと銀メダルを獲得し、日本中に感動を与えました。

◀2年前イベントのステージ

区独自のナンバープレートによる魅力発信へ

区は、江東ナンバーの導入について行ったアンケートの結果から、3月に国土交通省へ申込書を提出し、導入地域として決定しました。その後、江東ナンバーと同時発行予定の「図柄入りナンバープレート」の図柄案を募集。アンケートとそれを踏まえた検討委員会を経て、国への提案図柄を決定しました。江東ナンバーは平成32年度に導入を予定しています。

また、原動機付自転車等プレミアムナンバープレートも公募によりデザインを決定し、2月から交付を開始しました。



▲原動機付自転車等プレミアムナンバープレート

▲江東ナンバー（図柄入り自動車ナンバープレート）のデザイン案

不燃ごみの全量資源化を本格実施

▲中央防波堤外側埋立処分場・新海面処分場の延命化へ

4月、これまで試行的に行ってきた、不燃ごみ資源化事業の本格実施を開始しました。本区地先にあるごみの埋立処分場「中央防波堤外側埋立処分場」および「新海面処分場」はあと50年程で満杯になるといわれており、新たな処分場の建設はできません。埋立処分場の延命化と資源化率向上のため、区が集積所から収集した不燃ごみのうち、鉄・アルミ等の金属は素材として、それ以外のガラス・陶磁器等は固形燃料の製造に用いるなど、それぞれ資源化していきます。今後も持続可能な資源循環型地域社会の形成・実現に向け、取り組んでいきます。

今号の主な内容
[2面]保育園就職応援セミナー　受講生募集、風しん抗体検査・予防接種 対象を拡大し実施　[3面]KOTOスポーツキャラバン to 東京2020　[4面]正月特別開館　[5・6面]人事行政の運営状況（概要）　[9面]福祉課非常勤職員募集

UD FONT

こうとう区報は発行日から3日かけて郵便ポストへお届けしています

ご家庭・事業所等で配布が必要ない場合や、配布部数の変更を希望される場合は、全戸配布コールセンター（平日および配布日の9:00～19:00）☎3950-3070へ

読み終わった区報は古紙回収へ

TOKYO 2020
オリンピック・パラリンピックを成功させよう！